

The Hague Movies that Matter  
Festival2024 観客賞

CPH:DOX2024  
人権賞ノミネート

Doc Edge Festival 2024  
最優秀国際撮影賞  
「理解の架け橋」部門 最優秀作品賞

憎しみの連鎖を  
断つために

# 私は 憎まない

I S H A L L N O T H A T E

平和と人間の尊厳を追求するガザ出身医師の誓い

監督:タル・バルダ 制作:Filmoption 配給:ユナイテッドピープル  
92分/カナダ・フランス/2024年/ドキュメンタリー ©Filmoption

3人の愛娘を殺されてもなお共存の可能性を信じ、ヒューマニティに基づき  
行動するガザ地区出身の医師、アブラエーシュ博士に迫るドキュメンタリー

# 悲劇を真の平和の実現のために



## 分断に橋を架ける

ガザ地区の貧困地域、ジャバリア難民キャンプ出身の医師で、パレスチナ人としてイスラエルの病院で働く初の医師となったイゼルドゥン・アブラエーシュ博士は産婦人科でイスラエル人とパレスチナ人両方の赤ちゃんの誕生に携わってきた。「ユダヤ教徒、イスラム教徒、キリスト教徒の赤ちゃんの違いは？みんな同じく生まれたての赤ちゃんだ」と、共存が可能であることを自らの医療で体現してきた。彼は、ガザからイスラエルの病院に通いながら、病院で命が平等なように、外の世界でも同じく人々は平等であるべきだと、分断に医療で橋を架けようとする。しかし、両者の共存を誰よりも望んできた彼の救しと和解の精神が、究極の試練にさらされる。

## 暴力に暴力で対処しても問題は解決しない

2009年1月、アブラエーシュ博士の自宅がイスラエル軍の戦車の砲撃を受け、3人の娘と姪が殺害されてしまうという悲劇が彼を襲う。砲撃直後、博士の涙の叫びの肉声はイスラエルのテレビ局で生放送され、イスラエル中に衝撃と共に伝わった。翌日、テレビカメラの前で、博士は突然憎しみではなく、共存について語りだす。その後、正義を求めてイスラエル政府を訴え、娘の死の責任を追求するも、決して復讐心や憎しみを持たない彼の救しと和解の精神は、世界中の人々に感動を与え、数え切れないほどの賞を受賞し、“中東のガンジー、マンデラ、キング牧師”とも呼ばれる存在となる。自伝『それでも、私は憎まない』は世界的ベストセラーとなった。しかし、2023年10月7日のハマスのイスラエルへの攻撃、それ以降のガザへの攻撃を経て、彼の信念は再び試されることになる。



©Filmoption

もし、私の娘たちがパレスチナ人とイスラエル人の平和への道のりの最後の犠牲なら、私は娘たちの死を受け入れるだろう。

—— イゼルドゥン・アブラエーシュ博士  
5度のノーベル平和賞ノミネート

私は憎まない  
I SHALL NOT HATE

監督:タル・バルダ 脚本:タル・バルダ、ジェフ・クライン、サスキア・デ・ボア プロデューサー:ポール・カデュエ、マリズ・ルイヤー、イザベル・グリップソン、タル・バルダ  
製作総指揮:マヤ・カデュエール・ルイヤー、マルタン・カデュエール・ルイヤー、マリズ・ルイヤー  
登場人物:イゼルドゥン・アブラエーシュ、クリスティアン・アマンブール、シュロミ・エムルダー 他 制作:Filmoption 配給:ユナイテッドピープル  
協力:JIM-NET、日本国際ボランティアセンター(JVC)、パレスチナ子どものキャンペーン、ピースポート 92分/カナダ・フランス/2024年/ドキュメンタリー

<https://unitedpeople.jp/ishall>



映画の上映会主催者募集!  
詳しくは [cinemo.info](mailto:cinemo.info) へ  
お問い合わせ [film@unitedpeople.jp](mailto:film@unitedpeople.jp)



12.28(土)より信念のロードショー

当日一般1,800円/会員1,500円/大専・シニア1,300円/高校生以下800円

横浜 R16長者町5丁目交差点沿  
**シネマリン**  
045-341-3180  
[www.cinamarine.co.jp](http://www.cinamarine.co.jp)

